

【ヘイケボタル飼育記】

8月の頭、ビオトープでのホタル観察期間の終わり頃、2匹のホタルをお迎えしました。ちょうど交尾中のオス・メスがいたのです。プラカップに水苔を入れて、そこに数日いてもらいましたところ、焼きタラコの粒みたいな卵が産まれておりました。親ホタルをビオトープにお返しして、ホタルの幼虫飼育が始まりました。

2週間くらい経った頃、卵が孵化して幼虫が産まれました。小さくて透き通っていて、よく見ないとわかりません。ある程度成長して真っ黒な姿は図鑑などで見たことがあったのですが、最初は透明なのですね。

産まれた後は、ひたすらエサを与えながら水交換をしていきます。エサはカワニナやモノアラガイなど、川の貝を潰して与えます。川の貝以外ではアサリやシジミも美味しいみたいです。意外ですね。でもお店で買えるので、用意が楽です。食べ終わった後は食べ残しを取ったりして、水の綺麗さを維持するようにするのですが、これが意外と気を使います。水が汚れたり、エアが切れたりしてもあっさり弱ります。けれども生命力自体は強いようで、弱っても水を綺麗なものに替えると復活しました。

2度ほどのピンチを乗り越えて、60匹くらいの幼虫が成長しました。11月初頭に30匹ほどをビオトープに放流して、4月現在、手元には30匹ほどの幼虫がいます。1.5-2.0cmくらいの4-5令幼虫です。夏には綺麗に舞ってもらえるよう、これからも頑張ってお世話しようと思います！



親ホタル(ヘイケボタル)



ホタル幼虫

2024年1月下旬、ホタルの幼虫が上陸を開始しました。

遡ること2年前、2022年の夏に、2匹のホタルをお迎えしました。産卵し、幼虫が生まれ、育てたり放流したりを経て30匹ほどの幼虫を飼育しておりました。本来ですと、1年後、つまり2023年の夏には羽化して成虫になるのですが、手元にいた幼虫たちはこの時期には上陸することはありませんでした。聞くところによると、成長が十分でなかったりすると次の年まで羽化を持ち越すとのこと。ならばこの幼虫たちは2024年の夏まではこのままかと思っていたのですが、何がきっかけになったのか、1月下旬、羽化の準備を始めてしまいました。まだ冬の真っ只中です。外には放せません。「今かー」と、少々困ってしまいました(笑)

日照時間や気温で季節を感知しているかと思っていたのですが、何か違う要因があるのかも？上陸してからは2週間ほどかけてサナギから成虫へと羽化し、最終的には4匹のホタルが誕生しました。この中でまた交配して新しい卵が採ればよかったのですが、残念ながらそれには至りませんでした。また、飼育下ですから、単純にもっと多く羽化させたかったところです。次回挑戦する時には今回の経験を活かして、より多くのホタルを羽化させたいと思います。いつか、またビオトープをホタルでいっぱいにすることを目標に。



サナギ